Creative Enzymes®

ネイティブキャベツホスホリパーゼD

Cat. No. NATE-0595

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	ホスホリパーゼDは、ホスホリピッドを加水分解する酵素であり、受容体媒介のシグナル伝達□答および調節された分泌の重要な成分です。ホスホリピッドとスフィンゴミエリンのリン酸結合を加水分解し、□□するホスファチジン酸を生成します。ホスホリパーゼDは、ピーナッツにおける干ばつ感受性の付与に関与しており、アフラトキシン汚染のリスクを高めます。
用途	ホスホリパーゼD（PLD）は、ホスホリピッドおよびスフィンゴミエリンのリン酸結合を加水分解して、□□するホスファチジン酸を生成するために使用されます。また、プロパルギル-コリンの取り込みを測定することによって、代謝ラベリングおよび生体内でのコリンホスホリピッドの直接イメージングを研究するためにも使用されています。さらに、PLDは精製および動力学的研究にも使用されます。この酵素は、蛍光標識された脂質の調製中にボディピ-ホスファチジルコリンの調製に使用されました。
別名	ホスホリパーゼD; EC 3.1.4.4; リポホスホジエステラーゼII; レシチナーゼD; コリンホスファターゼ; PLD; 9001-87-0

製品情報

由来	キャベツ
形態	凍結乾燥粉末
EC番号	EC 3.1.4.4
CAS登□番号	9001-87-0
活性	> 100 ユニット/mg 固体
単位定義	1ユニットは、pH 5.6、30°CでL-α-ホスファチジルコリン（卵黄）から1時間あたり1.0 µmolのコリンを放出します。

保管・発送情報

保存方法	−20°C